



阿久比町子ども・子育て審議会条例の制定

Q 保育所運営審議会がなくなることに支障はないか。
A それに代わるものとしてこの組織を作るので、支障はない。

Q 対象児童の範囲が広がるのか。
A 基本的には保育園・幼稚園の児童であるが、学童保育の審議まで含めるので、小学校の児童まで入る。

阿久比町立区民館の管理に係る指定管理者の指定

Q 区民館と公民館の大きな違いは。
A 区民館は体育施設があり、公民館は生涯学習を行う場所。

平成27年度阿久比町一般会計補正予算

Q 個人番号カードの未執行分を繰り越すが、思ったほど進んでいないのか。
A カードの発行・発送が予定よりも全国的に遅れたが、基本的には事業は進んでいる。

Q 小学校の設備改修を行う際、国の補助は22%と23%しか出ないのか。
A 国の基準額の3分の1が補助となる。基準額が、こちらの積算・設計より低い。

Q 空調・トイレの改修は、目標に対してどれくらい進んでいて、全て完了するにはどれくらいかかるのか。
A エアコン設置は、平成24年度阿久比中学校、平成25年度南部小、平成27年度草木小と東部小新校舎、平成27年度国の補正予算で英比小を行い、一応完了する。

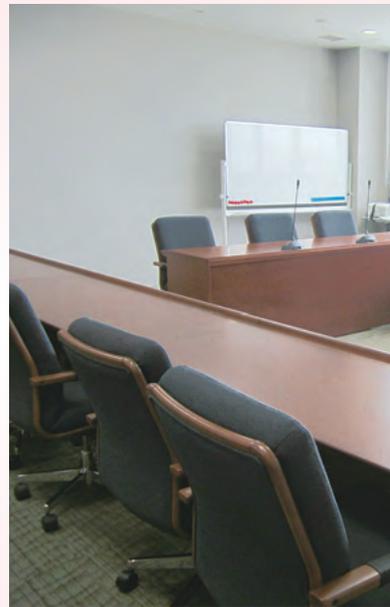
Q 今回減額する臨時福祉給付金と、増額する臨時福祉給付金の対象者は。
A 減額する臨時福祉給付金は1人6千円で、増額する年金生活者等支援は、低所得の年金対象者で、平成28年度中に65歳以上になられる人に対して1人3万円給付する。

Q 今回減額する臨時福祉給付金と、増額する臨時福祉給付金の対象者は。
A 減額する臨時福祉給付金は1人6千円で、増額する年金生活者等支援は、低所得の年金対象者で、平成28年度中に65歳以上になられる人に対して1人3万円給付する。

平成28年度阿久比町一般会計予算

Q 老人ホーム入所判定委員会は、医師の診断を受け、町の審査会後に行うものなのか。
A 養護老人ホームへの入所措置が適当であるかを、措置対象者の家庭環境や財政状況等を総合的に判定するために開催する委員会

Q 老人ホーム入所判定委員会は、医師の診断を受け、町の審査会後に行うものなのか。
A 養護老人ホームへの入所措置が適当であるかを、措置対象者の家庭環境や財政状況等を総合的に判定するために開催する委員会



委員会室

あり、医師の診断等というものではない。

Q 一期一会荘の待機者は80名でいいのか。
A 一期一会荘への申込者が80名。

Q 補装具の給付事業は、現在いったん自分で全額払い、申請後自己負担分外戻ってくる流れでいいか。
A コルセットや松葉づえなどの現物支給のものは、いったん全額払い、国保であれば町の窓口へ領収書をお持ちいただき、国保から返還する。

Q 保育園の修理、また設備は足りているか。
A 年数が経過し、老朽化している。修理すべきところはたくさん

Q 保育園の修理、また設備は足りているか。
A 年数が経過し、老朽化している。修理すべきところはたくさん



ひなた保育園を視察 (3月11日)

あるが、予算に限りがある。優先的にみてどうしても必要なものから行っているが、すべてがかなうわけではない。少しずつでも対応していきたい。

Q 国保加入者の生活が厳しくなってきたいて、国保税の負担が大きくなってきた。国からの財政支援金のうち一定額を国保加入者へ還元できないか。
A 国保特別会計は、昨年度、単年度赤字である。阿久比町は、国の財政支援金を国保税

平成28年度阿久比町国民健康保険特別会計予算

Q 国保加入者の生活が厳しくなってきたいて、国保税の負担が大きくなってきた。国からの財政支援金のうち一定額を国保加入者へ還元できないか。
A 国保特別会計は、昨年度、単年度赤字である。阿久比町は、国の財政支援金を国保税

Q 国保加入者の生活が厳しくなってきたいて、国保税の負担が大きくなってきた。国からの財政支援金のうち一定額を国保加入者へ還元できないか。
A 国保特別会計は、昨年度、単年度赤字である。阿久比町は、国の財政支援金を国保税

平成28年度阿久比町介護保険特別会計予算

Q 宅老所の利用者が増えず、地区ではサロンを行う動きが活発化している。今後の展望は。
A 総合計画では、宅老所の数を増やしていく方向で計画されている。地区の現状からすると、学区に1カ所では、歩いて通える方が少ない。サロンの方向へ切り替えていきたい。

Q 宅老所の利用者が増えず、地区ではサロンを行う動きが活発化している。今後の展望は。
A 総合計画では、宅老所の数を増やしていく方向で計画されている。地区の現状からすると、学区に1カ所では、歩いて通える方が少ない。サロンの方向へ切り替えていきたい。

Q 宅老所の利用者が増えず、地区ではサロンを行う動きが活発化している。今後の展望は。
A 総合計画では、宅老所の数を増やしていく方向で計画されている。地区の現状からすると、学区に1カ所では、歩いて通える方が少ない。サロンの方向へ切り替えていきたい。

(田中 千代子議員)